

# 国際ロータリー第 2550 地区 黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ゴードンR. マッキナリー  
第 2550 地区ガバナー：三井福次郎  
事務所：〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15  
ベルヴィ宇都宮内  
TEL：028-651-2550  
FAX：028-651-2551  
Email：[m2550@agate.plala.or.jp](mailto:m2550@agate.plala.or.jp)



世界に希望を生み出そう

会長：稲垣政一 幹事：井出法  
事務局：那須エステート(株)  
代表取締役 井出法  
〒325-0061 那須塩原市末広町53  
TEL: 0287-64-0001・FAX: 0287-64-1388  
E-mail: osamu\_ide@nasuestate.jp  
例会：国民の祝日を含まない週の水曜日  
12:30 - 13:30  
割烹石山 那須塩原市本町 5-5

## 第3001回 稲垣年度第1回例会会報 2023-7-5 司会 荒牧明二君

### 会長挨拶 稲垣政一会長



2023-24年度、黒磯ロータリークラブの会長を仰せつかりました稲垣です。1年間よろしくお願ひ申し上げます。

はじめに昨年度の植竹直前会長、大島前幹事、そして各委員会の皆様による素晴らしい成果に対し深く敬意を表します。有難うございました。

黒磯ロータリークラブ、会長就任にあたり、まだ自己紹介をしていないので、ここで少し紹介をさせていただきます。

私が生まれたのは昭和29年4月、旧黒磯で今年で69歳になります。黒磯小学校、黒磯中学校、そして黒磯高校を卒業しました。中学・高校では軟式テニスクラブに所属しており、当クラブ会員である村山様は1年先輩です。

高校卒業後、大学の商学部に入りました。私の家族は代々農業を営んでおり私が5代目です。それでも私が商学部を選んだのは、1962年3月、当時6歳だった私の近くで、ブリヂストン那須工場が国内3番目のタイヤ工場として稼働し、それが近隣の都市化を促しました。漠然とはありましたが、農業は、この地では、これから難しくなるだろうと感じ、商学部への進学を選びました。両親も反対はしませんでした。

大学卒業後、地元の信用金庫に入庫しました。退職まで働くつもりでしたが、父が膝の軟骨の移植手術により、農作業が難しくなったため、私が退職して農業を引き継ぎました。現在はすべて宅地となり、農家ではなくなりましたが、就農中は植竹直前会長には、大変お世話になりました。

退職後からは、不動産賃貸業を営む、有限会社稲垣商事を経営しております。平成2年3月に設立し、現在34期目となります。店舗・アパート賃貸を主としております。

私が大切にしていることは、ごく普通のことですが、家族や友人を大事にすること、仕事に対して真摯に向き合うこと、常に他人に対する思いやりを、忘れないこと、そして自分に対して、正直に生きることを大切に考えています。これらを大切にすることで、人生が豊かになると思っています。趣味や娯楽などは特にはないのですが、あえて言うなら、家族と旅行に行くことくらいでしょうか。

ロータリーに入会した動機については、ロータリーの崇高な目的に同じ思いを抱いたわけではなく、会員である村山様や平山様、和気様に誘われて恥ずかしながら、お付き合いで入会しました。

今は、ロータリークラブに参加することは、自分の成長だけでなく地域や社会への貢献にも、つながっているとと思います。また会員の皆様と交流することで新たな知識やアイデアを学び、より広い視野を持つことができると思っています。

結びになりますが、本日からいよいよ稲垣年度がスタートします。皆様のご支援とご協力を、心からお願ひ申し上げ、第1回目の会長挨拶とさせていただきます。お聞きいただき、有難うございました。

### 幹事報告 井出法幹事

本日例会終了後、第3回理事役員会を開催致します。理事役員の方はご出席をお願いします。


1. 先般6/21に第2回理事役員会が開催されました。以下の件が承認となっております。

- 片田会員の休会申請⇒承認

### 出席報告 鳥居輝一委員長 (出席規定の免除会員数8名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 7月5日	35 (8)	30 (6)	5 (2)	93.4%	—	—
前回 6月28日	35 (8)	31 (5)	4 (3)	96.9%	0	96.9%

欠席の場合は前々日 正午 までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)  
メール [aqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp](mailto:aqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp)

 親睦委員会 石山桂子副委員長



○ 誕生祝い 植竹一裕君




 ニコニコボックス 田中徹委員長



- 稲垣年度「委員会組織編制」・「年間プログラム」・「年間予算」について⇒承認
- 7月プログラムについて⇒承認
- 日本赤十字社栃木県支部への活動資金協力金10,000円支出⇒承認
- 那須クラシックコンサート(2023.9月開催)協賛金10,000円支出⇒承認
- ヘイデン君口座より、羽田空港までのヘイデン君他送迎代と黒磯高校分精算分の支出⇒承認
- ハイブリッド例会は基本継続
- メーキャップ目的参加の他ロータリアンご来場の際は、食事代として2,000円をお願いする。

2. ガバナー事務所から下記連絡が来ています。
  - 日台ロータリー親善会議(10月)の案内が来てます。(回覧:前年度からの引継ぎ事項)
  - 第27回インターアクト年次大会が8/5作新学院で開催されます。平山青少年奉仕委員長にお願いしています。
  - ガバナー月信VOL1(7月号)をwebサイトに掲載しております。(各会員へメール転送済み)
  - ロータリー文庫の閲覧についての案内が来てます。(各会員へメール転送済み)
  - 7月のロータリーレートは1ドル=145円との連絡がありました。

3. 現況報告書の作成に入ってます。皆様方のご協力の程よろしくお願ひします。

 委員会報告 安藤譲治  
副会長兼クラブ奉仕委員長



- 鳥居輝一君 稲垣年度の船出を祝して。
- 平山博君 稲垣年度の船出を祝して。
- 稲垣政一君 今日から稲垣年度が始まります。1年間宜しくお願いします。
- 藤崎善隆君 稲垣年度門出を祝して。
- 瀬尾紀夫君 稲垣年度門出を祝して。
- 植竹一裕君 昨年度大変お世話になりました。稲垣年度ガンバレ。
- 澤田吉夫君 稲垣年度出発を祝って。
- 村山茂君 稲垣年度出発を祝って。

- 大島三千三君 稲垣年度出発を祝って。
- 荒牧明二君 稲垣年度出発を祝って。
- 秋間忍君 稲垣年度出発を祝って。
- 檜山達郎君 稲垣年度出発を祝って。
- 安藤譲治君 稲垣年度出発を祝って。
- 吉光寺政雄君 稲垣年度出発を祝って。
- 田中徹君 本日よりスマイルBOX担当  
1年間宜しく申し上げます。
- 石山桂子さん 稲垣会長・井出幹事、  
1年間宜しく申し上げます。
- 高木慶一君 稲垣会長・井出幹事、  
1年間宜しく申し上げます。

## 新年度方針 稲垣政一会長

この度、歴史ある黒磯ロータリークラブの第64代会長に就任いたしました稲垣政一です。今日からの1年間宜しく申し上げます。それでは、早速、稲垣年度の方針と計画を発表させていただきます。2023-24年度、国際ロータリー会長ゴードン・マッキナリー氏は、「世界に希望を生み出そう」をテーマに、平和推進の継続的な取り組みや、メンタルヘルス問題に焦点を当てることを提唱しました。ウクライナの人々への支援や、ポリオ根絶への取り組みも強調し、ロータリー会員に、新たな緊急感を呼びかけ、平和で希望に満ちた世界を築くために力を注ぐよう促しました。第2550地区、三井福次郎ガバナーは、地区スローガンとして「ロータリーの基本はクラブです」、「クラブを通したロータリー生活を楽しみましょう」、「言葉や口先だけでなく行動をもって、誠実にロータリーを楽しみましょう」を掲げ、地区方針として次の6つの重要な取り組みを示しました。

- ① クラブ活動の再構築
- ② 3年後あるいは5年後のクラブを描きましよう
- ③ 仲間を増やそう
- ④ 次の世代へのより一層の援助を
- ⑤ ポリオ撲滅に力を注ぎましよう
- ⑥ ロータリーを広く知ってもらおう

これらの方針をもとに、九つの重点施策を掲げております。

- ① 仲間を増やましよう、純増2名
- ② 「つながり」を重視した魅力あるクラブ作りを  
委員会を月に一度は開催ましよう
- ③ 次の世代への援助を提供ましよう  
ロータリー財団への寄付目標一人150ドル、ポリオプラスへ30ドル、米山記念奨学会支援一人19,000円
- ④ クラブ活動の再検討
- ⑤ 組織の運用効率化を図るために、デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進
- ⑥ 皆様の知識を得るため、My rotaryへの登録を
- ⑦ 次の時代のリーダーを育てよう
- ⑧ 広報活動の重要性
- ⑨ ポリオ撲滅にグループ(又はクラブ)でアピール行動を起こましよう

第一グループ、君島孝明ガバナー補佐におかれま

しても、この地区方針と、重点施策の実現に取り組む姿勢を強調されております。これらを受けまして、黒磯ロータリークラブの会長方針として、次の目標を掲げました。

1. 例会の充実、親睦行事の実施
2. 会員純増2名
3. 委員会活動の充実 “Face to Face”直接対面でのコミュニケーションや交流を増やす。
4. ロータリー財団支援:US\$180/1人(財団\$150+ポリオプラス\$30)
5. 米山記念奨学会支援:19,000円/1人
6. My Rotary 登録・DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

以上を掲げました。

例会の充実と、親睦行事の実施については、「例会は楽しく魅力的に」を念頭に進めてください。また、知識や経験が豊富な外来卓話者を招き、刺激的で有益な情報や話題を提供していただくことで、より充実した例会を目指しています。そして親睦行事として、恒例の夜間例会に加えて、2回の夜間例会を追加しました。コロナ禍で弱まった親睦の輪を再び強固にしたいと考えています。

次に、会員増強についてです。これは当クラブのみならず、ロータリー全体にとっても課題となっています。予算編成の観点から見ても、この状況が続けば何らかの対策が必要となるでしょう。会員の皆様には、この問題が喫緊の課題であることを理解していただきたいと考えております。それゆえ、今年度は少なくとも2名の新規会員を迎え入れることを目指ましよう。植竹年度から引き続き、那須町と女性会員に対する活動に重点を置き、積極的に取り組んでまいりましよう。

委員会活動の充実については、三井福次郎ガバナーが、重点施策の中で「委員会を月に一度は開催ましよう」と述べています。当クラブのこれまでの実績を考慮し、月に1度の開催は困難と判断しても、年に少なくとも2回は開催していただきたいと思ひます。そのため、稲垣年度第1回理事役員会で、家庭集會補助を1回から2回に増やすことが承認されました。各委員会は、少なくとも年2回以上の開催を行い委員会活動の充実を図っていただきたいと思ひます。

同じく、三井福次郎ガバナーの重点施策の中で、次の世代への援助としてロータリー財団への支援としてUS\$180/1人(財団\$150+ポリオプラス\$30)、米山記念奨学会への支援として19,000円/1人が掲げられています。当クラブもこれに賛同し援助を行います。また10月24日の世界ポリオデーに合わせて、ポリオ撲滅にグループまたはクラブで、何らかの行動を起こそうと促しております。当クラブにおいても何らかのアクションは起こさなければならないと考えております。「My Rotary」への登録とDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進は、ロータリーのグローバルネットワークとより深く繋がるための重要なステップです。そのため、全員に「My Rotary」への登録を強く推奨します。また、ロータリーの友やガバナーの月信のWeb版の利用を促進します。そして、今年度のDX推進の一環として、食品ロスを防ぐために秋間会員

が開発した救食アプリの普及を目指します。また、時間的な制約から例会に参加できない方々に対しては、Zoomによるリモート例会を継続して提供します。

最後に、この素晴らしい当クラブの歴史と伝統を継承し、With CoronaからAfter Coronaへ向けて、クラブ活動の再構築と、更なる発展に向けて全力を尽くします。会員の皆様には、今後ともご指導と、ご支援をいただけますよう、お願い申し上げます。

以上、お聞きいただきありがとうございました。

## 新年度方針 井出法幹事

稲垣年度幹事を務めさせていただき井出です。改めてましてよろしくお願い申し上げます。稲垣会長の方針・計画の基、幹事としての職務を全うしていきたいと思っております。とりわけ、今年度はコロナ収束後における本格的な各種ロータリー活動の復活の年となってくるでしょう。ガバナー事務所、地区から、そして地元行政や各種団体から様々なイベント協力要請や将来に向けた施策等が多々出てくるかと思いますが、私自身クラブの調整役として、会長副会長以下、各委員会の皆様方のご協力を賜りながら乗り切っていきたいと考えております。

今年で6年目のロータリー活動となりますが、ここ約3年はコロナ禍だった為、また恥ずかしながら欠席も多かったせいか、まだあまりロータリーについて理解していない部分もございますが、この幹事職を機会に、いい意味でのロータリー活動の詳細を理解していきたいとも思っています。

不慣れな部分もありご迷惑をおかけすることもあると思いますが、重ね重ね会員皆様方のご指導をお願いしたく、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。

## 新年度方針 藤崎善隆副会長・会長エレクト(代読)

稲垣年度副会長・会長エレクトの藤崎です。本年度は稲垣会長の方針の下、黒磯クラブの奉仕活動、クラブ運営が円滑に行われるよう協力していくことと共に、次年度に向けた準備を行って参ります。コロナ後、そして多様な働き方など、現代の様々な事情に合わせたクラブのあり方を模索し、先輩方のご助言を頂きながら勉強して参ります。よろしくご指導のほどお願い申し上げます。

## 新年度方針 安藤譲治副会長兼クラブ奉仕委員長

稲垣年度、副会長兼クラブ奉仕委員長を仰せつかりました安藤です。

2023-24年度RI会長のゴードン・マッキナリー氏は「世界に希望を生み出そう」をテーマに、平和維持の継続的な取り組みや、メンタルヘルス問題に焦点を当てることを提唱しました。ウクライナの人々への支援やポリオ根絶への取り組みも協調し、ロータリー会員に新たな緊急感を呼びかけ、平和で希望に満ちた世界を築くために力を注ぐよう促しました。

また、第2550地区、三井福治郎ガバナーは地区スローガンとして

「ロータリーの基本はクラブです」

「クラブを通したロータリー生活を楽しみましょう」

「言葉や口先だけでなく行動をもって誠実にロータリーを楽しみましょう」

を掲げて、地区方針として6つの重要な取り組みと9つの重点施策を示しました。

これを踏まえて、黒磯クラブの稲垣会長は6つの目標を掲げました。

1. 例会の充実と親睦行事の実施
2. 会員純増2名
3. 委員会活動の充実。“Face to Face”による直接対面でのコミュニケーションや交流を増やす
4. ロータリー財団への支援:US\$180/1人(財団\$150+ポリオプラス\$30)
5. 米山記念奨学会への支援:19,000円/1人
6. MyRotaryの登録とデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進です。

この中で、特に委員会活動の充実に取り組み、年に2回以上の委員会活動を推奨しています。

副会長として、DXの推進などで稲垣会長をサポートしてまいります。クラブ奉仕委員長としては、委員会活動の充実に協力していきたいと思っております。また、各委員会で役割はそれぞれ異なりますが、ベースになるテーマとして、

1. 委員会活動の更なる充実
2. 会員相互の親睦の推進
3. 会員の増強

を目指して参ります。まずはクラブ奉仕各委員会の連携を深め、黒磯クラブを今まで以上に魅力あるクラブなる様に心がけてまいります。

1年間更なるご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

また、この場をお借りしまして、各クラブ奉仕委員会の委員長さんにご案内でございます。7月26日の第3回例会に於いて、本年度事業計画の発表をお願いいたします。

発表の順番は、

1. クラブ奉仕委員長
2. 親睦委員会
3. 出席委員会
4. プログラム委員会
5. 広報委員会
6. スマイルボックス委員会
7. 会報委員会
8. クラブ史料委員会
9. 雑誌委員会
10. ロータリー情報委員会
11. 会員増強委員会
12. 会員選考



SAA担当 荒牧明二

7月5日欠席者（敬称略）  
鈴木久雄 片田航介 荒井昌一 泉道夫  
戸野俊介

前回6月28日分メイクアップ（敬称略）  
無

次回例会 令和5年7月12日 担当 五大奉仕委員会他（新年度方針）

近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028  
○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル花月 0287-54-1105  
○金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：瀧田雅仁・吉光寺政雄・秋間忍・永山三芳